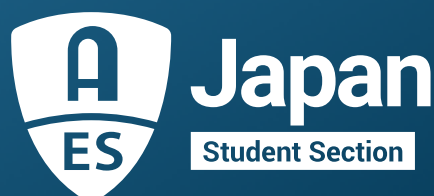


# AES日本支部・日本学生支部便り

## 2025年夏号



【共同発行】

AES日本支部

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993

公式ホームページ <https://aes-japan.org>

AES日本学生支部

公式ホームページ <https://japan.aes-student.org>

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 支部長挨拶 .....                 | 2  |
| 2024年度 AES日本支部 運営委員体制 ..... | 3  |
| 2024年度 事業計画 .....           | 4  |
| 基礎音響セミナー2024のご報告 .....      | 5  |
| 例会の活動について .....             | 7  |
| 日本学生支部 支部長挨拶 .....          | 10 |
| 日本学生支部の活動について .....         | 11 |
| 【訃報】鈴木弘明様 ご逝去のお知らせ .....    | 14 |
| 編集後記 .....                  | 16 |

# 支部長挨拶

AES日本支部 支部長 丸井淳史（東京藝術大学）

昨年9月の支部長選挙でご支援をいただき、このたびAES日本支部の支部長に就任いたしました。Audio Engineering Societyは1948年の設立から75年以上にわたって、オーディオ技術の発展を支え、世界中の研究者や技術者が交流し、知見を深める場を提供してきました。日本も最古参の支部としてその一翼を担い、多くの優れた研究成果や技術開発を支えてきた歴史があります。この伝統ある支部の一員として、皆様とともにさらに発展させていけることを大変光栄に思います。



近年、機械学習、空間オーディオ、バーチャル・リアリティなど、オーディオ技術は様々な分野と融合しながら進化を遂げています。本部から発行されているJournalにおいても、新しい発想の研究成果が次々と発表されており、私たちが研究・開発に携わる領域はますます広がっています。このように変化が早くなっている今だからこそ、最新技術の発展だけでなく、これまで築かれてきた技術や経験を大切にし、それを未来へとつなげることが不可欠であると考えています。

私は大学において教育・研究に従事しておりますが、オーディオ技術のさらなる発展に欠かせないのは、アカデミアのみならず、企業において、あるいはフリーランスとして活躍される皆様の努力と情熱です。AES日本支部が、多様なバックグラウンドを持つ皆様にとって、価値ある交流の場となるよう努めてまいります。

私自身も、AESを通じて得られる知識や人とのつながりが、どれほど貴重なものであるかを実感しています。今後、支部長として、日本支部の活動をさらに活性化させ、会員の皆様にとって有益な研究発表の場や交流の機会を増やしていく所存です。また、若手研究者や学生の皆様にも積極的に参加していただき、次世代のオーディオ技術を担う人材育成にも力を入れていきたいと考えております。

今後のAES日本支部の活動が、皆様の研究や開発にとってより充実したものとなるよう、全力を尽くしてまいります。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 2024年度 AES日本支部 運営委員体制

|        | 2024年度（2024年9月～2025年8月） |                |
|--------|-------------------------|----------------|
|        | 2年                      | 1年             |
| 支部長    | 丸井 淳史                   |                |
| 副支部長   | 岡田 詞朗                   |                |
| 監事     | 星 和麿                    | 内村 和嗣          |
| 運営担当   | 高橋 宏幸                   | 菅野 重信          |
| 例会担当   | 長江 和哉<br>伊藤 彰教          | 染谷 和孝<br>嶋田 美穂 |
| 会員担当   | 三村 将之                   | 中川原 修          |
| 会計担当   | 中原 雅考                   | 小谷野 進司         |
| 広報担当   | 土倉 律子<br>中澤 哲矢          | 小野 一穂          |
| 教育担当   | 星 和麿<br>重富 千佳子          | 渡邊 祐子          |
| 渉外担当   | 河原 一彦                   | 亀川 徹           |
| 事務局    | 見上 陽一郎                  | 佐藤 えり沙         |
| アドバイザー | 山崎 淳                    | 由雄 淳一<br>西村 明  |

# 2024年度 事業計画

## 1. 会議

- ・ 定期総会、運営委員会 等

## 2. 事業

- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ AES日本学生支部主催 AESジャパンフォーラムのサポート

## 3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 役員体制の見直し
- ・ 支部会員向けのサービスの拡充（担当者の負荷軽減により例会の充実化を目指す）
- ・ 賛助企業向けサービスの拡充（フォーラムやイベント等との連携）
- ・ 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

## 4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ 本部会員データベースの活用と、地域／言語別対応の推進の働きかけ
- ・ 入会・会員データベース更新方法などの手続きの案内

## 5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として、計4回から6回程度開催予定
- ・ 外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- ・ 地方開催の推進

## 6. 懇親会

- ・ 2回（2024年10～11月、2025年4～5月）

以上

# 基礎音響セミナー2024のご報告

AES日本支部 教育担当 星和磨・渡邊祐子・重富千佳子

2024年9月22日（日）、23日（月・祝）の2日間にわたり、第15回目の「AES基礎音響セミナー」を開催いたしました。今回は前回に引き続き、東京藝術大学 千住キャンパスにおいて対面開催とすることができました。

それぞれの分野において第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師として迎え、基礎的な音響学、電気音響、トランスデューサ、室内音響学、デジタル信号処理、録音基礎など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれました。

前回より再開することができました体験中心の「ステレオ録音入門」では定員超えの参加希望をいただき、参加者同士で交流しながらグループワークに取り組まれている様子が印象的でした。

各講義の終了時には講師の皆様と参加者とが会話される様子も多く見受けられました。講義に対する質疑応答だけでなく、音響技術にまつわる日々の業務・研究・学びにおける課題についての相談をお話しされる場面もあり、参加者の皆様にとって有意義な時間となっていれば幸いです。

参加者数は45名（一般8名、学生14名、賛助企業8社23名）でした。基礎音響セミナーをきっかけに新規入会を希望された参加者や賛助企業があり、AESならびにAES日本支部の活動に関心を寄せていただきました。ご多忙の中講師をお引き受けいただいている講師の皆様、基礎音響セミナー参加者の皆様に感謝申し上げます。

次回の基礎音響セミナーについても開催時期が近づきましたら告知をさせていただく予定です。ぜひ参加をご検討いただき、最新の知見の学習や知識のブラッシュアップにご活用いただければと思います。

## <セミナー概要>

（※は記録映像上映）

### 初級講座

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| A1. 音の基礎        | 星和磨（日本大学）     |
| A2. 聴覚と音知覚の基礎   | 西村明（東京情報大学）※  |
| A3. 電気音響の基礎     | 田村良隆（イーエーテック） |
| A4. デジタル信号処理の基礎 | 渡邊祐子（東京電機大学）  |

### 中級講座

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| B1. 室内音響入門             | 中原雅考（ソナ/オンフューチャー）        |
| B2. スピーカ入門             | 小谷野進司（KOYANO Sound Lab.） |
| B3. マイクホン入門            | 小野一穂（NHK財団）              |
| B4. ステレオ録音入門           | 亀川徹（東京藝術大学）              |
| B5. 音の心理評価入門           | 丸井淳史（東京藝術大学）             |
| B6. 実用デジタルオーディオプロセッシング | 鈴木久晴（エヴィクサー）             |



# 例会の活動について

AES日本支部 例会担当 嶋田 美穂  
(株式会社ヒューマックスエンタテインメント)

平素よりAES日本支部例会の活動に多大なるご理解とご支援をいただきまして心より感謝申し上げます。昨年度も多くの方にご参加いただき、音響技術の進歩と業界の発展を目指した取り組みを進めてまいりました。

またAES日本支部会員の皆様とともに、音響の最新技術や制作分野をテーマに、講演や情報共有に努めてまいりました。昨年度はオンライン配信を活用しつつ、対面形式の開催にも注力し、直接的な交流や議論を通じて深い学びと新たな発見の場を提供することができました。対面形式ならではの臨場感や、講演者や参加者とのリアルな意見交換は、多くの皆様から好評をいただいております。ソーシャルアワーなど、参加者同士の交流の時間を重視することで、業界内でのつながりがさらに深まる機会を作れたと実感しております。

例会後のアンケートでは、多くの貴重なご意見を頂戴しております。これらは今後の例会テーマや運営方法の改善に活かしてまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

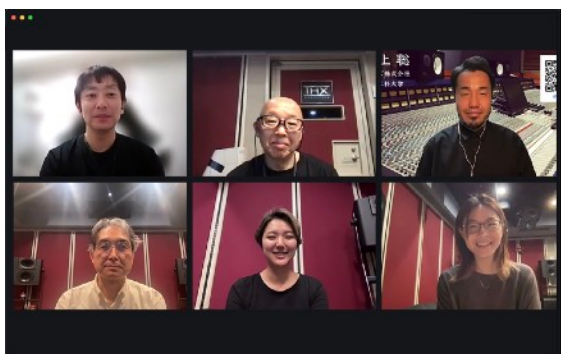
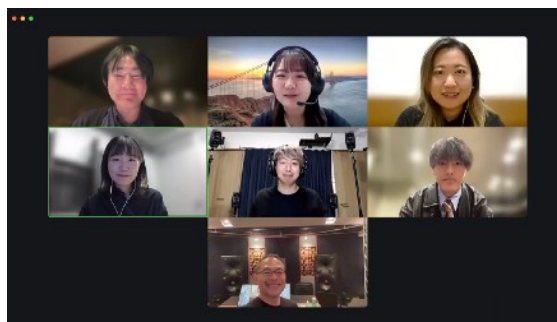
今年度も音響技術の進歩や業界のトレンドを踏まえ、皆様にとって有意義な学びと交流の場を提供できるよう努めてまいります。AES日本支部例会は、会員の皆様のご支援とご協力によって成り立っております。今後もより良い例会を実現するため、皆様のご理解とご参加を心よりお願い申し上げます。次回の例会でまたお目にかかれる日を楽しみにしております。

## <2024年 実施報告>

|                  | 開催日          | 開催方法          | テーマ・講演者                                                                                                                                                                                                        | 参加者数 |
|------------------|--------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1<br>月<br>例<br>会 | 1月31日<br>(水) | 対面 (音響芸術専門学校) | <b>AES NY 2023 コンベンションレポート</b><br>中原 雅考 氏 (オンフューチャー株式会社 / 株式会社ソナ)<br>山崎 淳 氏 (タックシステム株式会社)<br>野田 麻奈美 氏 (株式会社NHKテクノロジーズ)                                                                                         | 29名  |
|                  |              | その他           | ソーシャルアワー開催                                                                                                                                                                                                     | 25名  |
| 2<br>月<br>例<br>会 | 2月28日<br>(水) | Zoom<br>ウェビナー | <b>2024 AES 6th International Conference on Audio for Games連動企画『Racing Master』：中国次世代レースゲームのサウンドデザイン</b><br>巖 小光 (ゲン・ショウコウ) 氏 (NetEase Games / オーディオリードマネージャー)<br>魯 璇 (ロ・セン) 氏 (NetEase Games / シニア日本語トランスレーター) | 36名  |

|                            |                     |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                              |
|----------------------------|---------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 6<br>月<br>例<br>会           | 6月27日<br>(木)        | 対面 (オーディオテクニカ・アストロスタジオ)              | <b>イマーシブマイクBP3600とSPAT Revolutionでの仮想ミックス</b><br>沖田 潮人 氏 (株式会社オーディオテクニカ)<br>松井 徳子 氏 (株式会社オーディオテクニカ)<br>吉成 尚訓 氏 (株式会社オーディオテクニカ)<br>山口 哲 氏 (株式会社 メディア・インテグレーション)<br>ディスカッション登壇者:例会担当<br>嶋田 美穂 (株式会社ヒューマックスエンタテインメント)<br>染谷 和孝 (株式会社ソナ)<br>長江 和哉 (名古屋芸術大学)          | 27名                          |
|                            |                     | その他                                  | ソーシャルアワー開催                                                                                                                                                                                                                                                       | 21名                          |
|                            |                     | 機材協力                                 | 株式会社ジェネレックジャパン                                                                                                                                                                                                                                                   |                              |
| 7<br>月<br>例<br>会           | 7月25日<br>(木)        | Zoomウェビナー                            | <b>AES 6th International Conference on Audio for Games レポート</b><br>佐藤 えり沙 氏 (AES日本支部 事務局)<br>金子 貴紀 氏 (株式会社コナミデジタルエンタテインメント)<br>亀川 徹 氏 (東京藝術大学)<br>井上 聡 氏 (オンズ株式会社 / 東京工科大学)                                                                                      | 44名                          |
| 8<br>月<br>特<br>別<br>例<br>会 | 8月8日<br>(木)<br>2回講演 | 対面 (IMAGIC Aエンタテインメントメディアサービス 第2試写室) | <b>AES+JAPRS+Dolby共同勉強会 "LIVE FILMにおけるDolby Atmos音響制作"</b><br>三浦 瑞生 氏 (株式会社ミキサーズラボ)<br>染谷 和孝 氏 (株式会社ソナ)<br>嶋田 美穂 氏 (株式会社ヒューマックスエンタテインメント)<br>藤浪 崇史 氏 (Dolby Japan株式会社)                                                                                           | 1回目<br>22名<br><br>2回目<br>17名 |
|                            |                     | Zoomウェビナー                            |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 134名                         |
|                            |                     | その他                                  | ソーシャルアワー開催                                                                                                                                                                                                                                                       | 53名                          |
| 10<br>月<br>例<br>会          | 10月31日<br>(木)       | Zoomミーティング                           | <b>オーディオプロフェッショナルとの対談</b><br>重富 千佳子 氏 (日本音響エンジニアリング株式会社)<br>蓮尾 美沙希 氏 (株式会社WOWOW)<br>長谷川 綺 氏 (株式会社スクウェア・エニックス)<br>峯岸 良行 氏 (prime sound studio form / 名古屋芸術大学)<br>司会：<br>池田 翔 (東京藝術大学大学院 AES日本学生支部支部長)<br>中村 颯汰 (名古屋芸術大学 AES日本学生支部)<br>長江 和哉 (名古屋芸術大学 AES日本支部例会担当) | 44名                          |
| 11<br>月<br>例<br>会<br>(1)   | 11月11日<br>(月)       | 対面 (音響芸術専門学校)                        | <b>Vol.1 指向性マイクロフォンアレイを用いたリアルタイムノイズフィルタリングテクノロジーの解説</b><br>Shaun Edlin (ショーン・エドリン) 氏 (Dotterel Technologies CEO)<br>通訳：<br>山崎 淳 氏 (タックシステム株式会社)                                                                                                                  | 18名                          |
|                            |                     | その他                                  | ソーシャルアワー開催                                                                                                                                                                                                                                                       | 16名                          |

|              |               |                            |                                                                                                                                                                                |     |
|--------------|---------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 11月例会<br>(2) | 11月22日<br>(金) | 対面<br>(株)角川<br>大映スタ<br>ジオ) | <b>Vol.2 角川大映スタジオ“劇場用Dolby Atmos対応ダビングステージ<br/>見学会”</b><br>山口 慎太郎 氏 (株式会社角川大映スタジオ)<br>崎山 安洋 氏 (日本音響エンジニアリング株式会社)<br>宮崎 雄一 氏 (日本音響エンジニアリング株式会社)<br>前田 洋介 氏 (株式会社メディア・インテグレーション) | 30名 |
|              |               | その他                        | ソーシャルアワー開催                                                                                                                                                                     | 32名 |



# 日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 池田 翔（東京藝術大学）

AES日本学生支部 支部長の池田でございます。

平素より、AES日本学生支部の活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今年度、学生支部ではAES内外を問わず、昨年度以上に積極的な活動を展開いたしました。日本支部の皆様には多大なるご助力をいただき、活動を円滑に進めることができましたこと、深く感謝申し上げます。

また、支部便りにおいて日本学生支部の活動をご紹介いただけること、大変光栄に存じます。支部長挨拶および活動レポートを通じて、皆様に少しでもご興味をお持ちいただければ幸いです。

今年度は、毎年学生支部が中心となって開催している「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」は東京藝術大学を会場に開催し、ポスター発表や音源の再生を行いました。日本支部の皆様のご協力のもと、参加者は70名を超え、例年以上の規模での開催となりました。そのうち学生参加者は40名程度と、参加者の半数以上を占めており、今後も継続的に活動を推進し、AES本会員への移行促進に努めてまいります。

その他の活動としましては、日本支部との共同例会として、音の世界の第一線で活躍されている皆様とのオンラインによるトークセッションを実施いたしました。また、日本オーディオ協会様主催のOTOTEN2024に学生支部として出展するなど、活動の幅を広げることができました。

コロナ禍以降、学生支部の活動は縮小傾向にありましたが、今年度は以前よりも外向きの活動を展開することができ、一定の成果を得ることができました。今後もより良い交流の機会を提供できるよう、一層努力してまいります。

引き続き、AES日本学生支部の活動へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 日本学生支部の活動について

## AES日本学生支部

2024年度のAES日本学生支部は、東京藝術大学、東京工科大学、名古屋芸術大学、千葉工業大学、洗足学園音楽大学などに所属する学生運営メンバーを中心に活動を行ってまいりました。主なイベントとして、11月には「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2024」を開催し、6月には日本オーディオ協会様主催のOTOTEN2024への出展、10月には日本支部と共同例会を実施いたしました。

### 《若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2024》



研究発表および成果発表として、東京藝術大学、名古屋芸術大学、東京工科大学、工学院大学、九州大学、音響芸術専門学校など、全国の大学から合計21件の申し込みをいただきました。発表内容は音源制作、楽器音響、音響工学に関連するものなど、多岐にわたり、例年以上に幅広い分野の発表が行われました。参加者同士の知見が広がり、活発なディスカッションが行われました。

また、特別企画として22.2ch制作体験を実施しました。近年、Dolby Atmosなどのイマーシブオーディオに取り組む学生が増える中、22.2chに触れる機会は貴重と考え、本企画を実施いたしました。参加者からも大変好評をいただき、今後も特別企画の継続を検討しております。

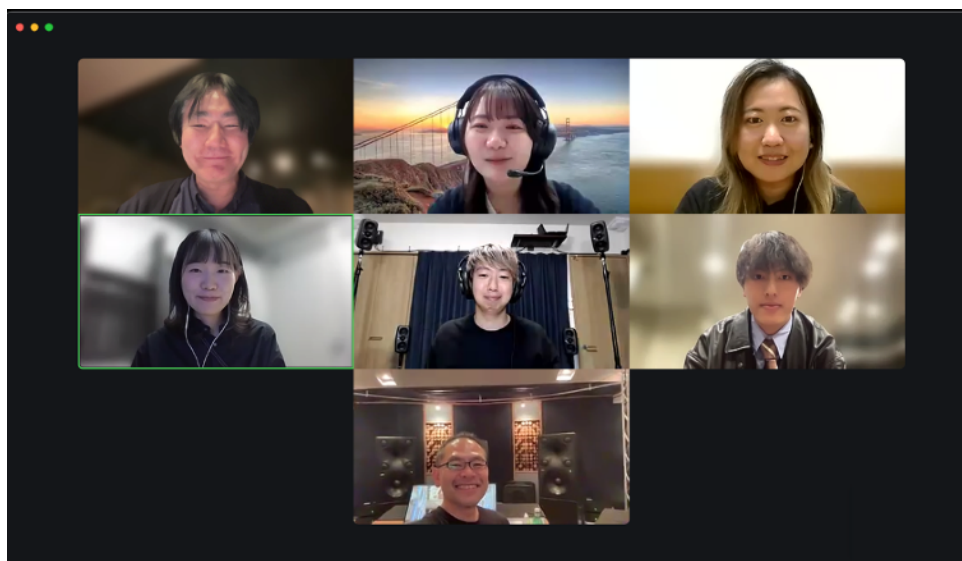


今年度は例年以上の規模で開催でき、有意義なイベントとなりました。一方で運営メンバーの減少が課題であり、さらなる学生の参加を呼びかけてまいります。最後に、日本支部の皆様ならびに会場としてご協力いただいた東京藝術大学の皆様に深く感謝申し上げます。

### 《AES日本支部・AES日本学生支部 共同例会》

日本支部の例会委員の皆様にご協力いただき、オンラインにて音に関わるプロフェッショナルの皆様との交流を行いました。合計44名の参加者のうち、23名が学生でした。音に関する4分野のお仕事について伺える貴重な機会となり、進路選択を控える学生にとって非常に有意義な場となりました。

登壇いただいた、日本音響エンジニアリング株式会社の重富様、株式会社WOWOWの蓮尾様、株式会社スクウェア・エニックスの長谷川様、prime sound studio form / 名古屋芸術大学の峯岸様に深く御礼申し上げます。また、日本支部の例会委員の皆様、参加者の皆様にも心より感謝申し上げます。



### 《OTOTEN2024》

日本オーディオ協会様主催のOTOTEN2024に学生支部として出展いたしました。本イベントは「学生の制作する音楽録音作品コンテスト（ReC♪ST）」の10周年を記念するものであり、AES日本学生支部も共催させていただいております。学生によるイマーシブオーディオ作品の再生および質疑応答を通じ、近年の学生制作の動向を対外的に発表する機会となりました。AESのみでは接点の少ない方々や一般来場者の皆様に、AES学生支部およびAESの活動を知っていただく貴重な機会となりました。

日本オーディオ協会様、シンタックスジャパン様、ジェネレックジャパン様、コルグ様、そしてご来場いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

・まとめ

今年度は、例年以上に活発な活動を展開することができました。しかし、学生のみでは実施が難しい部分も多く、日本支部の皆様の多大なるご支援のおかげで円滑に進めることができましたこと、深く感謝申し上げます。

また、本年度の課題として、学生参加者の多くがAESの会員ではなかった点が挙げられます。次年度以降は、AESの魅力をより多くの学生に伝え、会員への加入を促進できるような活動を強化していきたいと考えております。

今後もAES日本学生支部として、学生間の交流および将来的な音にまつわる業界への貢献を目指し、より一層努力してまいります。引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 【訃報】 鈴木弘明様 ご逝去のお知らせ

永きにわたりAESに貢献してくださいました鈴木弘明氏が  
令和6年5月18日に逝去されました。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### 追悼

鈴木弘明さんは日本ビクター社（旧名）でアビーロードスタジオの音響設計に関わるなど、オーディオ技術者として活躍されました。

その後、DVD Forumに参加されると、オーディオ担当グループ（WG4）の議長としてDVDのオーディオ開発に尽力されました。これによってDVDは、当時でいうハイレゾや多チャンネルオーディオを実装した初めてのメディアとなりました。そのDVD技術をAESコンベンションなどで積極的に紹介されるなど、DVDのオーディオ技術の普及にも努められました。

その功績により、2001年にAESよりFellowshipを授与されています。同時に、AES日本支部でも活発にご貢献頂き、支部長や事務局長などを歴任され、多くのイベントにも参画されて、役員として支部運営を永年支えてこられました。

また、JVCを定年退職後もSONAの社長としてご活躍され、AESの他にも日本オーディオ協会（JAS）でもご活躍されるなど、音響業界のために幅広くご貢献されました。

Bike（バイク）の愛称で親しまれた鈴木弘明さんの英語能力、特に技術英語能力には突出したものがあり、AESでのセミナーも含め多数の技術英語セミナーを開催されています。英語能力に加えてそのお人柄からも世界中の数多くのオーディオ関係者と仲がよく、特にDVD開発時には多くのスタジオやレコードレーベルの技術者と親交を深められ、コンテンツ制作者の要望を取り入れたDVDのオーディオの開発をスムーズに進められました。例えば、英国Meridian社のBob Stuart氏とはDVD開発以前からの親しい仲で、後年は氏の開発されたMQAの普及活動に尽力されていました。

鈴木弘明さんは、技術者として、またそのとても良いお人柄から、誰からも尊敬される方でした。

ご冥福をお祈りいたします。

（文：由雄淳一）

## 鈴木 弘明 Hiroaki Suzuki



### 【AESでの受賞歴】

#### 2001, Fellowship Award (本部より)

in recognition of continued contributions to acoustics and studio design as well as his leading role in the development of DVD-Audio (DVD Forum WG-4).

#### 2010, Board of Governors Award (本部より)

in recognition of chairing the AES 14th Regional Convention, "Feature the Future with Sound" in Tokyo, July 2009.

#### 2023, AES Japan Award (日本支部より)

オーディオ規格に関する多大な貢献に対して

---

## 編集後記

AES日本支部・日本学生支部便り 2025年夏号 をお読みいただき、ありがとうございます。ご覧のとおり、AES日本支部および日本学生支部ともに、今年度は大変充実した活動を展開してまいりました。学生支部においては、例年のジャパンフォーラムに加え、共同例会やOTOTENへの参加など、意欲的な取り組みが行われ、読み応えのある報告となっております。執筆者の皆さまをはじめ、ご協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

日本支部主催のイベント情報は、公式ウェブサイトだけでなく、各種SNSでも随時発信しております。この機会にぜひフォローいただけますと幸いです。本年度もさまざまなイベントが企画されておりますので、どこかで皆さまとお目にかかれることを楽しみにしております。

**Facebook:** <https://www.facebook.com/AESJapan>

**Twitter:** <https://twitter.com/aesjapan>

**Instagram:** <https://www.instagram.com/aesjapan/>

AES日本支部 広報担当